

保護者の皆様へ

子どもたちが予測困難な未来社会をたくましく生き抜くために ～「さいたま市 GIGA スクール構想」で個別最適な学びを実現します～ ＜教育長メッセージ＞

〇社会が変わる学びが変わる

2020 年は、コロナ禍により社会の在り方が一変した 1 年でした。3 か月に渡る学校の臨時休業、再開後も制限の多い学校生活が強いられ、私たちは、これまでの当たり前が当たり前でないことを自覚することとなりました。企業ではテレワークが急速に普及しあつという間に日常化しました。そして、今、学校も大きく変わろうとしています。

〇私たちは「さいたま市 GIGA スクール構想」で教育改革を推進します！

「これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え判断し行動し、子どもたち一人ひとりが思い描く幸せを実現して欲しい」と願う新しい学習指導要領を支えるため、文部科学省は、義務教育段階のすべての児童生徒に 1 人 1 台の情報端末と学校の高容量のネットワーク環境を整備することを発表しました。

さいたま市教育委員会も、「さいたま市 GIGA スクール構想」を掲げ、全児童生徒 1 人 1 台の情報端末と学校の ICT 環境の整備を進めてまいりました。そしていよいよ 2 月末、10 万人の児童生徒の手にタブレットパソコンが届けられ、子どもたちの笑顔がはじけました。私たちは、これまで実践してきた対面の一斉授業と、これからチャレンジする 1 人 1 台のタブレットパソコンを活用した授業とのベストミックスを図ることで、学びを次のように大きく変えてまいります。

- 全員が同時に同じ内容を学習することが多かったこれまでの授業が、デジタル教材を活用することにより、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することができるようになります。また、教員が一人ひとりの学習履歴を把握することにより、個々の理解や興味・関心に応じて、個別最適な学びを実現します。
- タブレットパソコンや大型モニター、プロジェクターなどを活用し、子ども同士の意見交換や発表などお互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成します。
- 国語や算数といった各教科の学びにとどまらず、教科を横断した「探究的な学び」へと導き、社会的な課題に対応した学びの充実へとつなげてまいります。

Society5.0 時代に生きる子どもたちにとって、タブレットパソコンは鉛筆やノートなどと同じ日々の学習の必需品となります。そして、1 人 1 台の情報端末を活用しての学びは、特別なことではなく学校の「スタンダード」となりました。しかし、忘れてはならないことは、ICT 環境の整備は手段であり目的ではないということです。一番大切なことは、子どもたち一人ひとりが豊かな創造性を備え、予測困難な未来社会をたくましく生き抜いていく資質・能力を身に付けることです。その際、児童生徒が ICT を適切・安全に使いこなすことができるよう情報リテラシーなどの情報活用能力を育成していくことも重要であると考えております。子どもたちがデジタルの世界を安心して泳いでいけるよう確かな力を付けるために、私たち教職員も指導力を高めてまいります。

〇保護者の皆様へのお願い

「さいたま市 GIGA スクール構想」の実現においては、学校の授業のみならずご家庭にタブレットパソコンを持ち帰り活用していくことを想定しております。その際、インターネットに接続して学習することになりますのでご家庭のネットワーク環境の整備をお願いいたします。ご家庭にネットワーク環境がない場合は、個別に対応させていただきますので遠慮なくご相談ください。

また、お子さんが積極的に家庭学習にタブレットパソコンを活用するよう、ちょっとだけ背中を押してあげてください。子どもたちは、次第に自立した学びを楽しみ始めると思っています。

さいたま市立学校の教職員そして教育委員会事務局のすべてのメンバーは、保護者の皆様と連携し、子どもたちの豊かな人生のために全力を尽くしてまいりますので、一緒に頑張りましょう！よろしくお願いいたします。

令和 3 年（2021 年）3 月 19 日
さいたま市教育長 細田真由美